平成２４年度警察政策研究センターの活動概要一覧

平成24(2012)年

４月～　所長及び教授が東京大学大学院、一橋大学公共政策大学院、中央大学法科大学院、同大学総合政策学部、首都大学東京都市教養学部及び法政大学法学部などで講義を実施したほか、本庁各部局職員の講師派遣を斡旋するなど警察政策に関する研究の発展及び普及を図った。また、慶應義塾大学大学院法学研究科（市民生活の自由と安全研究会）、早稲田大学社会安全政策研究所及び警察政策学会犯罪予防法制研究部会（これからの安全・安心研究会）のそれぞれと共同研究を実施。

５月　17日　（公財）公共政策調査会と共催でセミナー「反社会的勢力（総会屋・暴力団等）問題と企業の安全を考える」（講師：松坂紀生（警察庁組織犯罪対策部暴力団排除対策官）、疋田淳（弁護士、日本弁護士連合会民事介入暴力対策委員会委員長）を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

５月19～20日　所長が日本刑法学会第90回大会（会場：大阪大学吹田キャンパス）に出席。

６月　２日　所長が日本被害者学会第23回学術大会（会場：女性就業支援センター（東京都港区））に出席。

７月～　教授が昨年度に引き続き、国家公務員採用総合職試験（行政、政治・国際）の専門委員として試験問題の作成・検討に参加。

７月　４日　平成24年度警察政策学会総会・シンポジウムに出席（会場：グランドアーク半蔵門）。

７月３～８日　所長と教授が英国・ポーツマスで開催された英国犯罪学会に出席し、所長が「東日本大震災における日本の警察活動」と題して発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

７月９～13日　教授が中国・瀋陽で開催されたアジア警察学会年次会合に出席し、「我が国のファミリー・バイオレンス対策」と題して日本の現状等を発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

８月５～10日　主任教授が米国・ニューヨークで開催された国際警察幹部シンポジウムに出席し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

10月　６日　教授が日本公法学会第77回総会（会場：法政大学市ヶ谷キャンパス）に出席。

10月　27日　教授が日本犯罪社会学会第39回大会（会場：一橋大学国立キャンパス）に出席。

11月　28日　警察政策フォーラム「不正受給事犯・「貧困ビジネス」の実態と対策」（基調講演：道中隆（関西国際大学教育学部教育福祉学科教授）、小林和樹（NHK首都圏放送センター記者、NHKスペシャル「生活保護３兆円の衝撃」担当者）、小林洋一（大阪府警察本部警務部警務課犯罪対策室抑止・防犯・治安対策担当管理官））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

平成25（2013）年

１月　22日　懸賞論文（共催：（公財）公共政策調査会）「女性の安全をいかに守るか」授賞式（会場：グランドアーク半蔵門）

３月　１日　警察政策フォーラム「ファミリー・バイオレンスへの対応」（基調講演：後藤弘子（千葉大学専門法務研究科教授）、ブレット・ジョンソン（米国ワイオミング州スウィートウォーター郡公選検事））を開催（会場：全国都市会館）。

３月　14日　警察政策フォーラム「ＩＣＴ社会の自由と安全～通信の秘密を考える」（基調講演：石井徹哉（千葉大学大学院専門法務研究科教授）、四方光（警察大学校刑事教養部長）、ラルフ・ポッシャー（フライブルク大学法学部教授）、林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学教授））を開催（会場：慶應義塾大学三田キャンパス）